



とーや湖

さざなみ通信

甜菜（ビート）の収穫です。
留寿都村にて

ごあいさつ



院長 中谷 玲二

新型コロナウイルス感染症は、北海道においては本年1月28日から3月26日を第1波、3月27日から7月31日を第2波と判断し、現在は第3波の真ただ中にあるとされております。重症化を防ぐ治療法がある程度確立されたために、全国的には重症者数や死亡者数は減少傾向にあるものの、北海道では10月23日以降に新規感染者数が増加しております。このため26日の専門家会議では警戒ステージの引き上げが検討され、28日の対策会議では道民に3密を回避できない会合の自粛やテレワーク・時差出勤などを求める「レベル2」への移行に踏み切りました。

また、新型コロナウイルス感染症の完全な制御は困難であります。早期に診断してクラスターの発生や重症化を防ぐことはとても重要と考えます。当地区においては室蘭市医師会にPCR検査センターが9月に設置され、医師の判断でPCR検査が実施可能となりました。しかし、インフルエンザ感染症が流行する時期と重なることから、新型コロナウイルス感染症との判別が難しくなることが予想されます。国では発熱者が安心して身近な診療所や病院を受診できるように、電話相談や診療・検査を引き受ける医療機関をホームページなどで紹介することとしております。発熱症状があつて受診される場合は、まず、かかりつけ医に電話相談をすることをお願い致します。

話しは変わりますが、日本の高齢者は団塊の世代が75歳以上となる2025年まで急増し、概ね2040年にはピークを迎えます。地域の事情によりピークの時期は多少ズレますが、ピーク後には患者数は2割減少すると考えられているため、国は病院の再編が進むような施策を推し進めています。中長期的に少子高齢化の

進行は確実であり、これからの20年では医療需要の増加とサービス提供人口の減少が同時に生じます。しかしながら、今回のコロナ禍で殆どの病院において患者数が減少しており、2040年以降に想定していた出来事が前倒しでやってきた形となりました。将来を見据えた医療提供体制がどうあるべきか、いま一度、真剣に考える必要があると思います。

さて、当院が立地する洞爺湖町では、本年2020年に医療需要はピークを迎え、介護需要のピークは2030年とされております。当院でも医療・介護のニーズの変化を予測しながら、病棟の再編に取り組んでいるところです。具体的には病院病床を在宅系の施設に転換していくことを進めており、必要な医療ニーズにしっかりと応えながら、中長期的に増加する介護ニーズに安心して対応できるように、施設のハード面および理念を含めたソフト面の両面から見直しを加えています。同時に、在宅で当院を利用されている方々や当院が訪問している介護施設等の入所者の方々が急性増悪された際に、必要な医療が速やかに提供できる体制は変わらずに提供して参ります。

当院は新型コロナウイルス感染症に対応しながら、オンライン面会などご家族の要望にも配慮し、地域の皆様が安心して受診できる医療機関として継続できるように取り組んでおります。

今後も変わらぬご支援・ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年10月28日

院長 中谷 玲二

今年は全国的にコロナウイルス感染症が流行したことにより、当院としても夏祭りやその他の行事が全て中止となっています。世の中の状況に鑑み仕方ない状況ではありますが、入院している皆さんにとって季節のイベントを感じられないことはとても寂しいことだと思い、西2階病棟では「小・夏祭り」を企画しました。

今回、企画した夏祭りではデイルームにお好み焼きや綿あめ、ベビーカステラなど食べ物の屋台の他に射的や輪投げなどゲームの屋台も準備しました。

夏祭り当日はスタッフ全員が普段にも増して手指消毒の徹底やマスクの装着など感染対策に気を配り、制限の多い中ではありましたが夏祭りを実行しました。

当日、準備の段階から患

者さんたちは祭りの気配を感じたのか、そろそろデイルームに集まってきていました。そして、いざ祭りが始まると輪投げなどのゲームに夢中になったり(子供に戻ったような表情で微笑ましかった…)、普段屋台でしか食べられないような食事を楽しんだりして、今回のイベントが少しでも夏を感じられる良い刺激になったかなと思います。

今後、インフルエンザなど感染症の流行が心配される時期となりますが、感染対策をしっかりと行いながら患者さんの楽しめるイベントを実施していけたらと思います。



輪投げで賞品ゲット！



櫓も作りました

準備も万全

「リモート面会」について

院内感染対策委員会

当院では新型コロナウイルスの感染防止対策のため、予約制の「ガラス越し面会」以外は原則面会禁止とさせていただいております。当院といたしましては感染拡大防止に万全を期すために、今しばらくの間、制限を継続する予定です。なお、現在患者さんご家族の新たな面会方法として、パソコンとタブレット端末を利用した「リモート面会」の準備を進めております。

タブレット端末を病棟の患者さんのもとに置き、1Fの面会用パソコンにテレビ電話アプリで繋ぎ、画面を通してご家族と

面会していただく予定です。運用方法など詳しいことが決まりましたら、院内の掲示やホームページ等でご案内する予定です。

なにぶん初めての試みで解決していく問題も多いのですが、皆さんにご満足いただけるサービスとなるよう努力いたします。

入院患者さん並びにご家族には大変ご不便とご心配をおかけしておりますが、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。



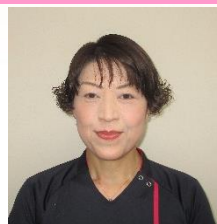
新入職員紹介



- ①渡久山 晃
- ②医師
- ③医局
- ④本年10月より当院で勤務することとなりました、渡久山 晃（とくやま あきら）と申します。いつでも何でもお気軽にお声がけください。



- ①平賀 瑠奈
- ②看護師
- ③東2B病棟
- ④皆様に支えられ日々勉強させていただいています。患者さん、ご家族に寄り添う看護ができるように頑張ります。よろしくお願いします。



- ①大谷 かおる
- ②看護師
- ③東2A病棟
- ④患者さんの笑顔と洞爺湖の景色に癒されながら、少しでも快適な入院生活のためのお手伝いをしたいと思っています。



- ①青木 美薫
- ②管理栄養士
- ③栄養課
- ④慣れないことが多くありますが、食事を患者さんの楽しみとなるように安全に提供していきたいです。よろしくお願いします。



- ①長岡 一夫
- ②MSW
- ③医療相談室
- ④医療現場での仕事は初めてですが、一日一日を大切に、患者さん、ご家族に貢献できるように頑張りたいと思います。



- ①石川 哲也
- ②介護福祉士
- ③西3階病棟
- ④今までの経験を活用し、入院されている患者さんの生活が少しでも豊かになるように頑張ります。



- ①高橋 ルリ
- ②リハビリ助手
- ③リハビリテーション課
- ④入職から4か月が経ちましたが、まだまだ慣れないことが多く一つ一つしっかり身につけて、ひとり立ちできるように努力します。



- ①牛坂 圭伸
- ②看護補助者
- ③西3階病棟
- ④知識不足で皆様に迷惑をおかけしますが、日々精進し、安心していただけますように頑張ります。



- ①須藤 彰一
- ②看護補助者
- ③西2階病棟
- ④9月14日より勤務いたしております。今まで介護福祉士として30年近く福祉の現場にて従事して参りましたが、経験を活かしながら仕事を覚えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今春から10月にかけて当院に入職した新しい仲間です。
各自の抱負を聞いてみました。
皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

① 氏名 ② 職種 ③ 所属 ④ 抱負



「インフルエンザの流行期を前に」



今冬、インフルエンザと新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されています。

インフルエンザは乾燥や気温の低下に伴いウイルスが活動的になり、流行期には多数の発熱患者が発生しますが、新型コロナについてはまだ解明されていません。

どちらのウイルスも発熱、倦怠感、咳など非常に似た症状を引き起こし、臨床的に鑑別することは困難であると指摘されており、また主な感染経路も感染者の咳、くしゃみ、つばからの飛沫感染、物品を通じた接触感



染と共通しています。

インフルエンザ感染予防策は、マスクの着用と手指の消毒、3密回避の徹底に加えて、インフルエンザワクチンの接種です。同時流行というリスクに直面している

今、ワクチン接種は重症化を防ぐため高齢者へ、また医療従事者などに強く推奨されています。

新型コロナの第1波が来た2～3月のインフルエンザ患者数が少なかったのは、これらの予防策の影響が大きかったと推測されます。感染予防策を徹底し、新型コロナもインフルエンザも防ぎましょう。また、発熱などの症状がある場合は、まずかかりつけ医療機関に電話で相談をお願いします。



令和2年度 洞爺温泉病院 「演芸会」中止のお知らせ

毎年秋の恒例行事となっております「演芸会」ですが、今年度の開催は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止といたします。病院の「夏祭り」に続き恒例行事が中止となり大変残念ではありますが、皆さまのご理解・ご了承をよろしくお願いいたします。

来年は滞りなく「夏祭り」「演芸会」とも開催できるよう願ってやみません。

「AI 顔認証体温測定装置」 導入のお知らせ



この度、感染予防対策の一環として「AI 顔認証体温測定装置」を導入いたしました。正面玄関を入ったロビーの外来受付窓口近くに試験的に設置しています。

本機は約 2 秒でスピーディーに体温測定ができ、また、非接触型なので大変衛生的です。測定結果は音声とともに画面に表示されます。設定された体温を上回ったり、マスクを着けていなかったりすると警告が表示されます。来院の際には適切な感染予防にご協力ください。

洞爺温泉病院の理念

- 個別性を尊重した医療の提供
- 信頼されるチーム医療の実践

編集後記

実りの秋です。当院の近辺では表紙にもあるとおり、ビートの収穫が真っ盛り。埼玉県出身の私としては、トラクターに引かれたビートハーベスターが広い耕地を走り回り、どんどんビートを掘り出していくのを見るだけで、さすが北海道は豪快だと感動してしまいました。(H.N)

企画・編集

医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院 広報図書委員会

〒049-5892

虻田郡洞爺湖町洞爺町54-41

TEL 0142-87-2311

FAX 0142-87-2260



ホームページ

<http://www.toya-onsen-hospital.or.jp>